

|            |  |                |         |     |
|------------|--|----------------|---------|-----|
| 宇部工業高等専門学校 | 開講年度                                     | 平成30年度(2018年度) | 授業科目    | 化学B |
| 科目基礎情報     |  |                |         |     |
| 科目番号       | 51013                                    | 科目区分           | 一般 / 必修 |     |
| 授業形態       | 講義                                       | 単位の種別と単位数      | 学修単位: 1 |     |
| 開設学科       | 経営情報学科                                   | 対象学年           | 1       |     |
| 開設期        | 前期                                       | 週時間数           | 前期:2    |     |
| 教科書/教材     | 新編化学基礎、新編化学(東京書籍)／改訂プログレス化学基礎、最新スクエア図説化学 |                |         |     |
| 担当教員       | 中村 成芳                                    |                |         |     |

### 到達目標

①化学反応式の量的関係について説明できる

②酸と塩基について説明できる

### ループリック

|       | 理想的な到達レベルの目安   | 標準的な到達レベルの目安                                    | 最低限の到達レベルの目安(可)  | 未到達レベルの目安  |
|-------|--|---|--|--|
| 評価項目1 | 化学反応式の量的関係について実例をあげてわかりやすく説明できる。化学反応式の量的関係の複雑な計算をすることができる。 | 化学反応式の量的関係について説明できる。化学反応式の量的関係の標準的な計算をすることができる。 | 化学反応式の量的関係の基本的な内容について説明できる。化学反応式の量的関係の基本的な計算をすることができる。 | 化学反応式の量的関係の基本的な内容について説明できない。化学反応式の量的関係の標準的な計算をすることができない。 |
| 評価項目2 | 酸と塩基、pHについて実例をあげてわかりやすく説明できる。酸と塩基、pHの複雑な計算をすることができる。       | 酸と塩基、pHについて説明できる。酸と塩基、pHの標準的な計算をすることができる。       | 酸と塩基、pHの基本的な内容について説明できる。酸と塩基、pHの基本的な計算をすることができる。       | 酸と塩基、pHの基本的な内容について説明できない。酸と塩基、pHの基本的な計算をすることができない。       |

### 学科の到達目標項目との関係

#### 教育方法等

|           |   |
|-----------|---|
| 概要        | 化学Aの続きをとして自らの専門に活かすために化学についての基本的な知識、実験技術を習得する(2学期開講)  |
| 授業の進め方・方法 | シラバスの計画に沿って教科書の内容を中心に説明を行う。グループでの演習、小テスト、課題レポートなども行う。 |
| 注意点       | 関数電卓を使用する   |

#### 授業計画

|      | 週   | 授業内容             | 週ごとの到達目標                                      |
|------|-----|------------------|---|
| 前期   | 1週  | 復習               |   |
|      | 2週  | 質量パーセント濃度、モル濃度   | 質量パーセント濃度、モル濃度を説明できる<br>質量パーセント濃度、モル濃度を計算できる  |
|      | 3週  | 化学反応式            | 化学反応式を組み立てることができる                             |
|      | 4週  | 化学反応式と量的関係       | 化学反応式と量的関係を説明できる<br>化学反応式と量的関係に関する計算をすることができる |
|      | 5週  | 化学反応式と量的関係2(つづき) | 化学反応式と量的関係を説明できる<br>化学反応式と量的関係に関する計算をすることができる |
|      | 6週  | 酸と塩基             | 酸と塩基を説明できる                                    |
|      | 7週  | 水素イオン濃度とpH       | 水素イオン濃度とpHを説明できる<br>水素イオン濃度とpHに関する計算をすることができる |
|      | 8週  | 定期テスト            |   |
| 2ndQ | 9週  |                  |   |
|      | 10週 |                  |   |
|      | 11週 |                  |   |
|      | 12週 |                  |   |
|      | 13週 |                  |   |
|      | 14週 |                  |   |
|      | 15週 |                  |   |
|      | 16週 |                  |   |

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類    | 分野   | 学習内容   | 学習内容の到達目標                                      | 到達レベル | 授業週 |
|-------|------|--------|--|-------|-----|
| 基礎的能力 | 自然科学 | 化学(一般) | 化学反応を反応物、生成物、係数を理解して組み立てることができる。               | 3     |     |
|       |      |        | 化学反応を用いて化学量論的な計算ができる。                          | 3     |     |
|       |      |        | 電離について説明でき、電解質と非電解質の区別ができる。                    | 3     |     |
|       |      |        | 質量パーセント濃度の説明ができ、質量パーセント濃度の計算ができる。              | 3     |     |
|       |      |        | モル濃度の説明ができ、モル濃度の計算ができる。                        | 3     |     |
|       |      |        | 酸・塩基の定義(ブレンステッドまで)を説明できる。                      | 3     |     |
|       |      |        | 酸・塩基の化学式から酸・塩基の価数をつけることができる。                   | 3     |     |
|       |      |        | 電離度から酸・塩基の強弱を説明できる。                            | 3     |     |
|       |      |        | pHを説明でき、pHから水素イオン濃度を計算できる。また、水素イオン濃度をpHに変換できる。 | 3     |     |

#### 評価割合

|    |        |    |
|----|--------|----|
| 試験 | 課題レポート | 合計 |
|----|--------|----|

|         |    |    |     |
|---------|----|----|-----|
| 総合評価割合  | 40 | 60 | 100 |
| 基礎的能力   | 40 | 50 | 90  |
| 専門的能力   | 0  | 0  | 0   |
| 分野横断的能力 | 0  | 10 | 10  |